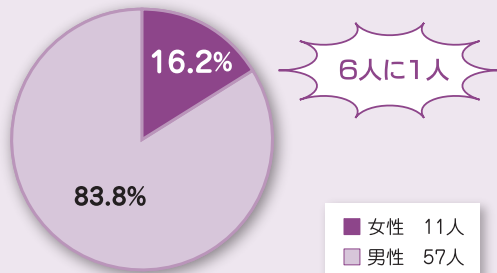


防災に男女共同参画って、必要??

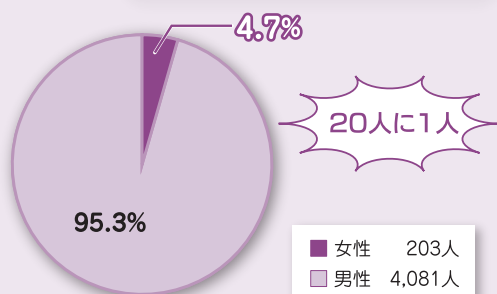
必要なんです。

長崎県の防災分野における女性の参画状況

長崎県防災会議の委員の状況



長崎県における自治会長の状況



出典：平成30年度 長崎県の男女共同参画の現状と施策

女友達から、避難所の運営責任者が男性が多かったので、必要な支援が届かなかったり、嫌な思いをしたことがあったと聞いたことがあるよ。



そうなんだ。避難所には、男性、女性、乳幼児、妊産婦、高齢者、障がい者、療養中の人、外国人、性的少数者などいろんな人がいるから、いろんなニーズもあるはずだよ。



グラフを見ると、長崎県は地域に占める女性リーダーの割合が低いよね。



女性のリーダーが少ないと、女性の意見は、反映されにくいよね。



リーダーに女性が少ないと、「リーダーは、男性の役割だ」と、性別だけで決めてしまうという考え方の傾向が強いと言われていたんだよね。



男性、女性といった性別だけで、役割を決めるなんて…。いろんな人がいるから皆が困るよね。



大切なのは、性別だけでリーダーを決めるってことじゃないんだよね。



男性、女性など性別を問わず、できる人が分担し、役割を固定化しない

男女共同参画の視点に配慮した避難所の運営管理が必要です。

たとえば…

- 管理責任者への男女両方の配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画の確保(女性の割合は、少なくとも3割以上)
- 女性や子育て家庭の意向及びニーズの把握
- 避難者による食事作り、片付け、清掃等の役割分担(性別や年齢によって役割を固定化しない)
- 不安や悩み、女性への暴力等に対する相談窓口の周知、男性相談窓口の周知

内閣府HP チェックシート(備蓄・避難所・応急仮設住宅)一部抜粋